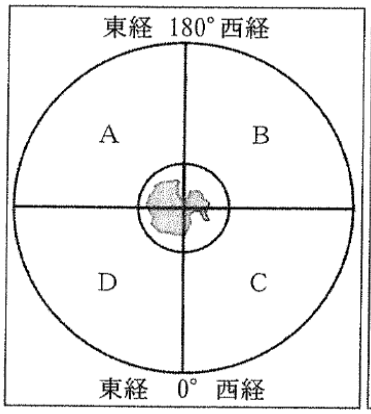
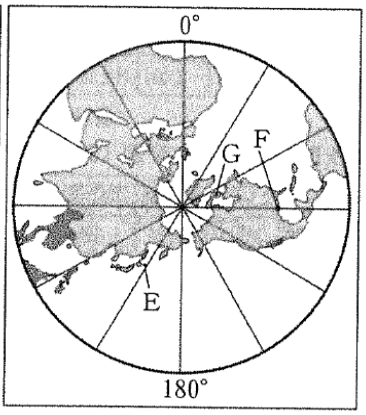
３．右の南極点を中心とした南半球の略地図Ⅰ、北極点を中心とした北半球の略地図Ⅱについて、あとの問いに答えなさい。なお、略地図Ⅱの北極点から引いてある線は経線であり、本初子午線から 30 度ごとに引いてある。

略地図Ⅰ

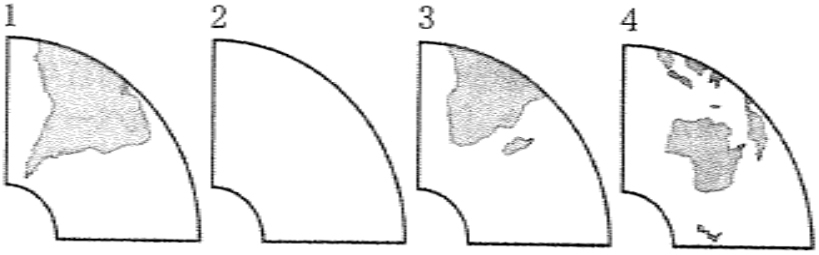


略地図Ⅱ



①略地図Ⅱの都市Ｆに関して、横浜市が 2 月 15 日午前 11 時のときの都市Ｆの日時を午前もしくは午後の区別をつけて書け。

②略地図Ⅰの A～D の部分にあてはまるものとして最も適するものを、次の１～４の中からそれぞれ一つずつ選び、A～D の順にその番号を書け。なお、１～４は A～D のいずれかに一つずつあてはまるものとする。



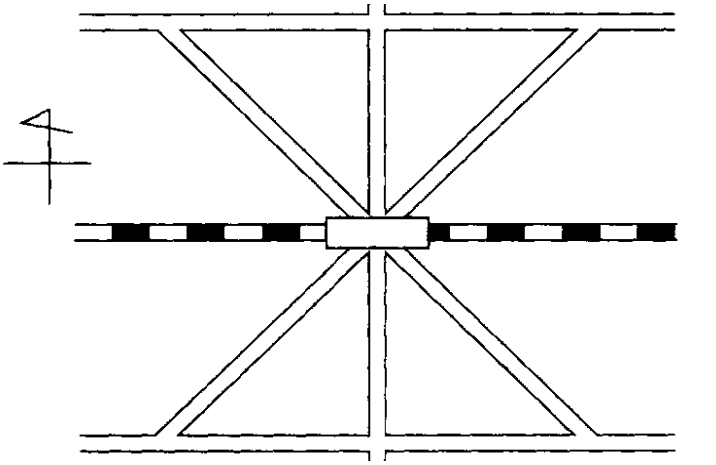
４．次の問いに答えよ。

①25000 分の 1 の縮尺で描かれたある地形図中の地点Ｅにある発電所から、地点Ｆにある神社までの直線距離をはかったところ 3.6cm であった。実際の距離では何 km になるか

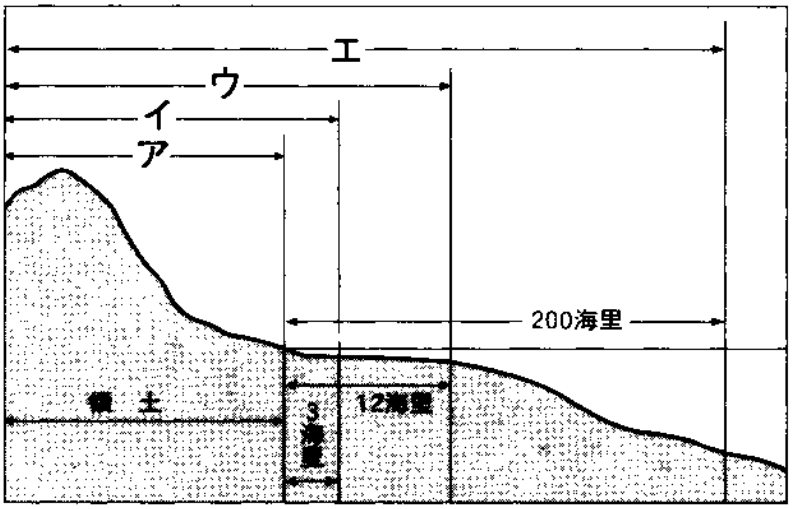
②Ａ市の市街地は、2 万 5000 分の 1 の地形図において、1 辺 8cm の正方形で表される。Ａ市の市街地の実際の面積を求めよ。

③次の図は、Ａ市の駅周辺の略地図である。略地図の中に、あとの説明文に合わせて、市役所の地図記号を書け。

ＪＲ線の駅から，北西に向かう道路がつきあたった交差点の北側に，市役所がある。



④右の図中のア～エのうち「領空」の範囲を正しく示しているものはどれか。



５．右に示す図１～図４は、地球儀をそれぞれ違う角度から見て、平面に表した模式図である。（H23 秋田）

①図１と図２のａ～ｉの中から赤道を示すものを一つ、日本の標準時子午線を示すものを２つ選んで、それぞれの記号を書け。

②右下の図５のア～エの中から、図２の模式図の範囲内に位置する都市の気温図を、一つ選んで記号を書け。

③図３と図４のＡ～Ｄの範囲を２つ組み合わせたとき、太平洋の面積が最も大きくなるのはどれとどれか。

図１　図２　図３　図４

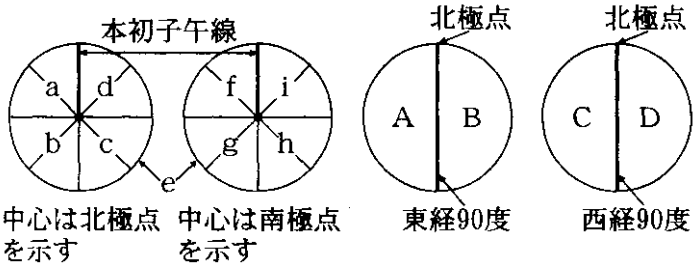
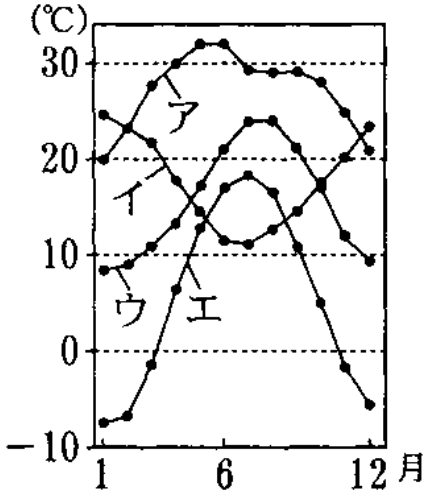



図５　各都市の気温図